

## 1 活動の概要

震災後の小学生の学校生活を知るために、館内に設置された20個のポイント（チェックカード）を一定時間内にできるだけ多く探し出すオリエンテーリングを行う。

施設が小学校校舎として利用されていた当時を振り返る講話を行う（キャラバン可）。

## 2 ねらい

当施設が震災後、山田町立船越小学校の校舎として利用されていた当時の生活の様子を知る。

## 3 活動場所

陸中海岸青少年の家館内

（他団体の利用がある場合は、活動場所を制限する場合あり）

## 4 所要時間

オリエンテーリング 1～1.5時間（団体の計画により弾力的に変更可）

講話 0.5～1時間（団体の計画により弾力的に変更可）

## 5 準備・服装

個人・団体	グループ分け（1グループ4～6名程度）
青少年の家	（オリエンテーリング）地図、解答用紙、振り返り用紙、筆記用具、バインダー、解答（引率用） （講話）スクリーン、プロジェクター

## 6 オリエンテーリングの進め方

### （1）グループ分け

- ・1グループ4～6名程度、少人数の場合は個人でよい。
- ・地図、解答用紙、筆記用具、バインダーを配布する。

### （2）活動の説明（指定された研修室）

- ・グループごとにまとまって説明を聞く。※活動の概要、注意事項など

(3) 解答用紙の記入

- ・グループごとに「解答用紙」にチーム名（個人の場合は氏名）を記入する。

(4) スタート

- ・地図の中にあるポイント（●印）をできるだけ多く探す。  
ア チェックカードのキーワードを「解答用紙」の表に記入する。  
イ 問題があるチェックカードを見つけたら、グループで答えを考える。
- ・引率者は、スタートと同時に時間を計り始める。

(5) ゴール

- ・引率者は、時間になったら終了の合図を出す。
- ・ゴールしたら、全体で解答を確認する。

(6) 振り返り

- ・活動を通して感じたことを振り返る。

(7) 後片付け

- ・筆記用具、バインダーをカゴに入れて事務室に返却する。



## 7 講話の進め方（30分の場合）

(1) 講話（25分）

(2) 質問タイム（5分）

## 8 留意事項

- (1) 廊下や階段を走らないなど、安全面に留意する。
- (2) ポイントがない場所や、立ち入り禁止の場所へは絶対に入らない。
- (3) 答えを教えたり、大声を出したりしない。
- (4) チェックカードを動かしたり、はずしたりしない。
- (5) 館内の備品を動かさない。
- (6) 得点や時間の早さを競争しない。